

ことが聞きたい 一般質問

本定例会の一般質問の要旨をお知らせします。
(紙面の都合上、質問及び答弁は要約してあります。)

錦野悦朗 議員

問 岡島橋の改築について

岡島橋は、昭和16年に改築されまして、およそ64年程たっております。その間に、平成3年と平成8年に一部補強されましたが、今日に至っていませんが、年数とともに全体的に相当老朽化をしていると思われま。

最近では、大型車や重量の重いダンプといったものの交通量もぐんと増えてまいりましたが、橋の幅は5メートルと非常に狭く、すれ違い等も容易ではなく、また、併設された歩道橋も、一般の方や小中学生、高校生の通学には欠かせない橋であり、その歩道橋も1日約5百人程の人が通ると計測されております。その歩道橋も何十年も経っています。橋のボーリング調査は2年ほど前に済んだと聞いておりますが、それ以後どうなっているのか、早期実現に向け、只今の進捗状況などお聞かせ願えればと思います。

答 宗宮孝生 町長

岡島橋の改築につきましては、昭和14年の架橋であり、老朽化が著しいということは承知しておりますし、また交通量も1日に1万1千台を越すということで、架け替えが必要であることを、これまで県に対し強く要望してきたところでございます。

平成13年度には、平面測量と概況調査事業を行いました。また同年12月には、地元区長会長さんを初め関係の区長さん、そして商工会、PTAの皆さんの代表の方々によって住民参加型の道づくり委員会を立ち上げていただいております。この中で橋の構造、あるいは架け替えの位置などの検討を行っていただいておりますし、特に兩岸のけた高、取りつけ高を重点に私は考えているところでございます。

今年度は残りの地質調査を実施することになっており、現在、国土交通省との河川協議が進められております。町としても、来年度には用地測量に入ることができるよう、県に対し強く要望を現在しております。

尚、この事業を実現するためには、国の公共事業として採択がどうしても必要ではないかと私は思っております。平成19年度には何とか国の公共事業として採択ができないかと、現在、強く要望しております。

坪井重憲 議員

問

岡島橋の架け替えに伴う国道417号線の改良について

岡島橋の架け替えについては、揖斐川町にとって最優先課題との認識の中で、一日も早い工事着工に向け努力をせねばならない、そんな思いでございます。

更に岡島橋が架かっている、国道417号線は本町にとつては町を南北に縦断する大変重要な道路であると認識しております。

そこで、岡島橋の架け替えと並行して怪永と和田の境界付近より岡島橋南詰めまでの間、約6百メートルに亘り歩道(自転車道)を付けていただきたいと思います。朝夕のラッシュアワーはもとより、日中でも大型トラックやバスとの対面通行の際、歩行者や自転車、オートバイの利用者などが大変怖い思いをされていると思います。

歩道の整備につきまして、町長にお尋ねいたします。

答 宗宮孝生 町長

岡島橋の架け替えについては、錦野議員の質問で答えをさせていただきましたとおりでございます。

また、岡島橋の南詰めから怪永橋北詰めまでの間は、交通量も多く、しか

も、小・中学生から高校生までが通学する唯一の道路でございます。現在、朝・夕の通学時間帯は、車が渋滞し、危険な状態と認識しております。

歩道の整備は、特に必要であると考えております。これについては、住宅や商店街が密集していることから、地域の皆さんの御理解と御協力をお願いしなければならずと思っております。

今後、国道417号及び要望の強い県道春日・揖斐川線のバイパス計画等も、併せて全体構想を立てなければならぬと考えており、十分な協議を行いたいと考えております。

問 黒田橋の架け替えについて

池田町と揖斐川町の2町にまたがる黒田橋が現在の橋になったのは随分昔であったと、承知しております。その当時は、多分大八車や馬車等が主流であったと思います。当時としては大変すばらしい橋であったと思っておりますが、現在は車社会になっております。しかも、大型化しております。橋の上でお互いにすれ違いうことができない、大変不便な橋であると思っております。そこで、お尋ねいたしますが、都市計画のこともございますが、黒田橋の架け替えについてどのように考えておられるのか、町長にお尋ねをいたしたいと思います。